

楠の子



佐賀県立中原特別支援学校「学校新聞」

第 7 号

令和3年3月23日発行（総務・広報部）

「ご卒業おめでとうございます そして中原特別支援学校は10周年」 （主幹教諭 松尾みどり）

令和2年度の卒業証書授与式が無事終了しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、異なる形での式となりましたが、64名の卒業生は堂々と卒業証書を受け取りました。

10年前、平成23年4月に「中原特別支援学校」が誕生しました。今年の高等部卒業生の中には、その2年前、平成21年4月に中原養護学校に入学し、初めて本校で小、中、高の12年間を過ごした3名も含まれています。入学した年の5月1日、本校で初めての給食が始まりました。当時、私は本校の職員ではなかったのですが、縁あって本校初の給食「ハヤシライス」を一緒に味わう機会に恵まれました。初々しい1年生を含む、本校舎児童生徒29名全員（※今年度は全校267名です…）、初めての給食に大喜びで、みんなで配膳し、みんな一緒に楽しく賑やかな食事だったのを覚えています。あれから12年、中学部、高等部とどんどん仲間が増えました。小学部、中学部、高等部卒業生それぞれの在籍期間は違っても、立派に成長した姿は晴れやかで輝いていました。

卒業生のみなさんは、これからそれぞれの場所で新しい日々が始まります。11年目の中原特別支援学校にも新しい仲間を迎え、在校生は1つ学年が上がり、新たなスタートです。

新しい人との出会い、新しい場所には期待も不安もあるかと思います。いろいろなことに挑戦し、可能性を広げると同時に、必要なときに必要なことを周りの人に伝えながら、充実し、幸せな日々であることを願い、応援したいと思います。子どもたちの健やかな成長とかかわるすべての方々の健康とさらなる活躍をお祈りします。

それぞれの春。卒業、進級、そして中原特別支援学校10周年おめでとうございます。



「馬がやってきたよ」「暗室遊び」(本校舎 小学部)

道産子の「たまごちゃん」が、馬広場からやってきてくれました。お天気にも恵まれ、快晴のグラウンドでたまごちゃんに乗ったり、遠くから眺めたりして、子ども達はそれぞれの方法でたまごちゃんと触れ合ったり、乗馬体験をしたりして楽しみました。

教室を暗くして光る遊具で遊びました。スイッチを押したり、ボタンを押して光る棒をキラキラさせたり、光の糸を持ち上げたり。暗い中での光の遊びはとっても楽しくて、自分からいろいろな遊具に触れて遊びました。後半は電子黒板で歌の流れる動画を見て楽しみました。



3年生、卒業おめでとう！！(本校舎 中学部)

3月11日（木）の卒業証書授与式では、呼名に卒業生らしく大きな声で返事をし、堂々と卒業証書を受け取ることができた3年生、とても立派でした。中学部3年間で学んだことを生かしながら、高等学校や高等部に進学しても自分らしさを忘れずに活躍して欲しいと思います。

ご卒業おめでとうございます。



いざ社会人！！（本校舎高等部）

3月11日に卒業式が行われました。高等部では卒業後は社会人になるということもあり、人生の中でも大きな区切りとなる一日でした。入学してから様々な勉強や体験をすることで、卒業式には社会人の顔つきになっており、立派な社会人になると確信しました。これからも努力する姿勢を忘れず頑張ってください！！



肥前訪問教育学級卒業式（肥前訪問学級）

肥前訪問学級では、肥前思春期病棟内にて卒業証書授与式を行ないました。コロナ禍の中、病院のご協力もあり授与式が実施でき卒業生も喜んでいました。式では担当医、看護副師長よりお祝いの言葉をいただき、真剣な表情で話を聞く姿が印象的でした。今後も笑顔を大切に頑張ってくれることを願っています。



春よ来い（分校舎）

東佐賀病院内で2月の合同学習に節分の行事をしました。「コロナ鬼退散！」「みんな元気に」など思いを込めた札を貼って豆まきの歌を歌ったり、鬼の面に手作りの玉を投げたりしました。若楠療育園の節分の行事でも、「どんな鬼を退治したいのか、どんな福に来てもらいたいのか」を書いた札を鬼の面に貼り、「鬼は外、福は内！」と、皆で声を出しながら花紙の豆玉を投げました。活動中には笑顔が見られ、賑やかな雰囲気を楽しんでいました。

卒業 おめでとうございます（鳥栖田代分校）

3月11日の卒業証書授与式では、中学部4名、小学部8名の児童生徒が卒業しました。大きな声で返事をし、堂々と歩いて、立派に卒業証書を受け取ることができました。それぞれが、中学部・高等部へ進学します。期待に胸を膨らませ、未来に向かって羽ばたいていこうとする姿が印象的でした。

また、在校の児童生徒は、分校のサテライト会場から式に参加し、卒業を祝いました。



【編集後記】

各地から桜の便りが届くうららかな季節になりました。3月は卒業式や修了式があり、笑顔と涙でいっぱいのある時期。早いもので今年度の「楠の子」もこの号が最後となりました。年に7回の発行を目標にしていたのですが、皆様の協力のおかげで無事に予定どおり全てを発行することができました。今年度から、近隣の小中学校へも一部写真等を加工して「楠の子」を発送しています。学校のホームページでも閲覧できますので、ご覧いただければと思います。

（総務・広報部）